

個別施設方針一覧表

【13_田村】

2025年（令和7年）10月
郡山市財務部
公有資産マネジメント課

「個別施設方針一覧表」の見方

施設類型	施設名	地区	施設概要	サービス 評価	建物 評価	総合評価	取組内容	方針
① 1 集会施設	② 大槻ふれあいセンター	③ 大槻	延床面積 ④ 1,444.08㎡ 建築年度（経過年数） ⑤ 2009（17） 構造 ⑥ RC造 ランニングコスト（年間） ⑦ 6,763千円	⑧ 高	⑨ 高	⑩ A：継続	サービス ⑪ 継続 建物 ⑫ 長寿命化	⑬ 地区公民館と行政センター等との複合施設であり、地域コミュニティの拠点施設として、計画的な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る。

①施設類型	施設の目的・用途等により類似する施設を分類した名称を表示
②施設名	施設の条例等による名称を表示
③地区	施設の所在している行政区名（市内15地区名）を表示 ※旧市内は、富田と大槻を除く
④延床面積	建物延床面積（複数棟は合計面積）を表示 ※借用施設は面積に含まない
⑤建築年度（経過年数）	主たる建物の建築年度及び次期計画開始年度の2026年度中に迎える経過年数を表示
⑥構造	主たる建物の構造を表示 W造（木造）、C B造（コンクリートブロック造）、P C造（プレキャストコンクリート造）、S造（鉄骨造）、R C造（鉄筋コンクリート造）、S R C造（鉄骨鉄筋コンクリート造）
⑦ランニングコスト（年間）	当該施設の運営や維持管理に係る、人件費、光熱水費、修繕費などの経費（2019から2023年度までの5年間の平均額）
⑧サービス評価	施設で提供するサービスを利用状況などの定量評価及び法令設置根拠などの定性評価を踏まえたサービス継続の優先度を「高」・「低」で評価したもの、評価以前に検討すべき課題がある場合は、「中」とし、総合評価を「あり方検討」とする。
⑨建物評価	目標使用年数に対する2026年度時点での残使用年数から、長寿命化改修等により延命するか、建替えか解体を検討すべきかを「高」・「低」で評価したもの ・高：残使用年数（2026）が20年以上（長寿命化改修による延命が可能） ・低：残使用年数（2026）が20年未満（改修による延命ではなく建替え、解体を検討） ・－：建物が無い場合や複合施設の従たる施設の場合等で評価ができないもの
⑩総合評価	サービス評価及び建物評価の組合せによる、次期個別施設計画期間（2026～2035）の方針 ・A：継続：施設のサービスを継続し、建物は長寿命化や集約・複合化の検討を要する ・B：建物更新：施設のサービスを継続し、建物は更新の検討を要する ・C：サービス廃止：施設のサービスを廃止し、建物は転用・譲渡等の検討を要する ・D：廃止：施設のサービスを廃止し、建物は解体の検討を要する ・E：あり方検討：検討すべき課題があり、施設方針を決めることができない場合の評価 ・－：建物なしで評価を付さないもの（サービス評価により継続、廃止の検討を要する）
⑪取組内容（サービス）	次期個別施設計画期間（2026～2035）の10年間におけるサービスの取組内容 ・継続：サービスを現在の施設で継続するもの ・継続（移転）：サービスを他の施設で継続するもの ・廃止：サービスの廃止を検討するもの ・あり方検討：検討課題について整理後に、サービスの継続か廃止のいずれかに位置づけるもの
⑫取組内容（建物）	次期個別施設計画期間（2026～2035）の10年間における建物の取組内容 ・更新：既存の建物や構造物を取り壊し、同程度の機能に取替えること ・長寿命化：長く使い続けるため、適切な時期に改修等を行うことにより耐用年数を延ばすこと ・維持補修：部分的に劣化した部位などの性能、機能を実用上支障のない状態まで回復させること ・集約・複合化：（集約化）既存の同種の施設、（複合化）既存の異なる種類の施設の統合を行うこと ・転用・譲渡等：建物を有効活用するため、建物を他の用途に転用したり、譲渡、貸付等を行うこと ・解体：既存の建物や構造物を取り壊すこと ・建物なし：他の施設を間借りしている場合で専有建物がない、又は民間施設を借用している場合
⑬方針	次期個別施設計画期間（2026～2035）の10年間におけるサービス・建物の取組の具体的な方針

個別施設方針一覧表

施設類型	類型別 No	施設名	地区	施設概要		サービス 評価	建物 評価	総合評価	取組内容		方針
1 集会施設	33	田村地域交流センター	田村	延床面積	331.80㎡	低	高	C：サービス 廃止	サービス	廃止	入浴サービスは民間事業者においても提供が可能であり、その他のサービスも利用状況等に課題があることから、サービス廃止を検討するとともに、建物の他用途への転用や譲渡を検討する。
				建築年度（経過年数）	1992（34）						
				構造	RC造						
				ランニングコスト（年間）	7,795千円						
1 集会施設	39	東部勤労者研修センター	田村	延床面積	390.70㎡	中	高	E：あり方 検討	サービス	あり方検討	利用状況に課題があることから、利用者ニーズ等を踏まえたあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1986（40）						
				構造	RC造						
				ランニングコスト（年間）	2,813千円						
1 集会施設	98	田村公民館	田村	延床面積	1,495.51㎡	中	高	E：あり方 検討	サービス	あり方検討	地域コミュニティの拠点施設として、更なる市民サービス向上を図るため、隣接する田村行政センター等との複合化についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1995（31）						
				構造	RC造						
				ランニングコスト（年間）	19,305千円						
1 集会施設	99	高瀬地域公民館	田村	延床面積	486.22㎡	高	高	A：継続	サービス	継続	他施設と複合化している施設であり、計画的な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る。
				建築年度（経過年数）	1982（44）						
				構造	RC造						
				ランニングコスト（年間）	11,904千円						
1 集会施設	100	二瀬地域公民館	田村	延床面積	472.37㎡	中	高	E：あり方 検討	サービス	あり方検討	連絡所との複合施設であるが、利用状況に課題があることから、近隣の本館等への集約化等についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1994（32）						
				構造	RC造						
				ランニングコスト（年間）	12,680千円						
1 集会施設	101	田村公民館谷田川分館	田村	延床面積	250.08㎡	低	高	C：サービス 廃止	サービス	廃止	「郡山市立公民館施設整備方針」の考え方に基づき、近隣の本館等へ集約化を図り、当該施設でのサービス廃止について検討する。なお、施設の利用状況を踏まえ、地域への譲渡を検討する。
				建築年度（経過年数）	2005（21）						
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	1,204千円						
1 集会施設	102	田村公民館田母神分館	田村	延床面積	249.26㎡	低	高	C：サービス 廃止	サービス	廃止	「郡山市立公民館施設整備方針」の考え方に基づき、近隣の本館等へ集約化を図り、当該施設でのサービス廃止について検討する。なお、施設の利用状況を踏まえ、地域への譲渡を検討する。
				建築年度（経過年数）	1996（30）						
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	2,057千円						
1 集会施設	139	田村公民館御代田分館	田村	延床面積	-	低	-	-	サービス	廃止	「郡山市立公民館施設整備方針」の考え方に基づき、近隣の本館等へ集約化を図り、当該施設でのサービス廃止について検討する。
				建築年度（経過年数）	-						
				構造	-						
				ランニングコスト（年間）	35千円						
3 図書館	15	中央図書館田村分館	田村	延床面積	135.00㎡	中	高	E：あり方 検討	サービス	あり方検討	他施設に入居している施設であり、主たる施設の方針に合わせ、更なる市民サービス向上を図るため、隣接する田村行政センター等との複合化についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1995（31）						
				構造	RC造						
				ランニングコスト（年間）	1,377千円						

個別施設方針一覧表

施設類型	類型別 No	施設名	地区	施設概要		サービス 評価	建物 評価	総合評価	取組内容		方針
4 スポーツ施設	6	東部体育館	田村	延床面積	1,542.69㎡	高	高	A：継続	サービス	継続	計画的な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る。
				建築年度（経過年数）	1986（40）				建物	長寿命化	
				構造	RC造						
				ランニングコスト（年間）	13,238千円						
4 スポーツ施設	10	ふるさとの森スポーツ パーク体育館	田村	延床面積	1,620.96㎡	高	高	A：継続	サービス	継続	総合運動施設として、計画的な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る。
				建築年度（経過年数）	1992（34）				建物	長寿命化	
				構造	RC造						
				ランニングコスト（年間）	20,543千円						
4 スポーツ施設	32	田村スポーツ広場	田村	延床面積	26.19㎡	高	高	A：継続	サービス	継続	地域の人々が気軽に運動に親しめる施設として、引き続き利用状況を踏まえ、補修等を行いながら現状を維持する。
				建築年度（経過年数）	2023（3）				建物	維持補修	
				構造	RC造						
				ランニングコスト（年間）	2,934千円						
4 スポーツ施設	33	東部スポーツ広場	田村	延床面積	26.19㎡	高	高	A：継続	サービス	継続	地域の人々が気軽に運動に親しめる施設として、引き続き利用状況を踏まえ、補修等を行いながら現状を維持する。
				建築年度（経過年数）	2022（4）				建物	維持補修	
				構造	PC造						
				ランニングコスト（年間）	2,261千円						
4 スポーツ施設	35	ふるさとの森スポーツ パーク野球場	田村	延床面積	-	高	-	-	サービス	継続	総合運動施設として、引き続き利用状況を踏まえながら現状を維持する。
				建築年度（経過年数）	-				建物	建物なし	
				構造	-						
				ランニングコスト（年間）	2,753千円						
4 スポーツ施設	36	ふるさとの森スポーツ パークソフトボール場	田村	延床面積	57.61㎡	高	高	A：継続	サービス	継続	総合運動施設として、引き続き利用状況を踏まえ、補修等を行いながら現状を維持する。
				建築年度（経過年数）	2000（26）				建物	維持補修	
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	3,857千円						
4 スポーツ施設	37	ふるさとの森スポーツ パークスポーツ広場	田村	延床面積	73.08㎡	高	高	A：継続	サービス	継続	総合運動施設として、引き続き利用状況を踏まえ、補修等を行いながら現状を維持する。
				建築年度（経過年数）	2014（12）				建物	維持補修	
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	2,712千円						
6 学校	45	御代田小学校	田村	延床面積	2,572.01㎡	中	高	E：あり方 検討	サービス	あり方検討	文部科学省の定める「標準の学校規模」を下回る「小規模校」であることから、適正規模・適正配置の考え方を踏まえ、近隣の学校との統合を含めあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1989（37）				建物	維持補修	
				構造	RC造						
				ランニングコスト（年間）	15,487千円						
6 学校	46	高瀬小学校	田村	延床面積	4,531.73㎡	高	高	A：継続	サービス	継続	計画的な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る。
				建築年度（経過年数）	1969（57）				建物	長寿命化	
				構造	RC造						
				ランニングコスト（年間）	24,527千円						

個別施設方針一覧表

施設類型	類型別 No	施設名	地区	施設概要		サービス 評価	建物 評価	総合評価	取組内容		方針
6 学校	47	守山小学校	田村	延床面積	5,677.13㎡	高	高	A：継続	サービス	継続	計画的な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る。
				建築年度（経過年数）	1986（40）				建物	長寿命化	
				構造	RC造						
				ランニングコスト（年間）	42,773千円						
6 学校	48	谷田川小学校	田村	延床面積	1,799.39㎡	中	低	E：あり方 検討	サービス	あり方検討	文部科学省の定める「標準の学校規模」を下回る「小規模校」であることから、適正規模・適正配置の考え方を踏まえ、近隣の学校との統合を含めあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1972（54）				建物	維持補修	
				構造	RC造						
				ランニングコスト（年間）	14,182千円						
6 学校	73	高瀬中学校	田村	延床面積	4,741.80㎡	高	高	A：継続	サービス	継続	計画的な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る。
				建築年度（経過年数）	1986（40）				建物	長寿命化	
				構造	RC造						
				ランニングコスト（年間）	21,145千円						
6 学校	74	守山中学校	田村	延床面積	5,435.49㎡	高	高	A：継続	サービス	継続	計画的な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る。
				建築年度（経過年数）	1978（48）				建物	長寿命化	
				構造	RC造						
				ランニングコスト（年間）	27,508千円						
7 保育所	19	田村保育所	田村	延床面積	948.16㎡	中	高	E：あり方 検討	サービス	あり方検討	少子化が進む中、民間でも実施されているサービスであることを踏まえ、民営化の可能性を検討するとともに、民間認可保育所等の入所状況を考慮し、公立保育所の役割や適正な規模・配置のあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	2003（23）				建物	維持補修	
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	115,160千円						
7 保育所	20	御代田保育所	田村	延床面積	369.52㎡	低	低	D：廃止	サービス	廃止	決定した方針に基づき、2030年3月にサービスを廃止し、建物の解体を検討する。
				建築年度（経過年数）	1972（54）				建物	解体	
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	61,143千円						
8 放課後 児童クラブ 等	28	守山小児童クラブ	田村	延床面積	142.00㎡	高	高	A：継続	サービス	継続	学校余裕教室に入居している施設であり、学校の方針に合わせ、計画的な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る。
				建築年度（経過年数）	1986（40）				建物	長寿命化	
				構造	RC造						
				ランニングコスト（年間）	7,817千円						
8 放課後 児童クラブ 等	61	高瀬小児童クラブ第1教室	田村	延床面積	63.00㎡	高	高	A：継続	サービス	継続	学校余裕教室に入居している施設であり、学校の方針に合わせ、計画的な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る。
				建築年度（経過年数）	1969（57）				建物	長寿命化	
				構造	RC造						
				ランニングコスト（年間）	7,601千円						
8 放課後 児童クラブ 等	62	高瀬小児童クラブ第2教室	田村	延床面積	-	中	-	E：あり方 検討	サービス	あり方検討	学校の余裕教室外にある施設であるため、学校の利用状況を踏まえながら、余裕教室への移転などを含めた施設のあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	-				建物	建物なし	
				構造	-						
				ランニングコスト（年間）	231千円						

個別施設方針一覧表

施設類型	類型別 No	施設名	地区	施設概要		サービス 評価	建物 評価	総合評価	取組内容		方針
8 放課後 児童クラブ 等	75	谷田川小児童クラブ	田村	延床面積	0.00㎡	中	-	E：あり方 検討	サービス	あり方検討	学校の余裕教室外にある施設であるが、学校の方針に従いあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	2005（21）						
				構造	W造				建物	建物なし	
				ランニングコスト（年間）	3,171千円						
8 放課後 児童クラブ 等	82	御代田小児童クラブ	田村	延床面積	90.00㎡	中	高	E：あり方 検討	サービス	あり方検討	学校の余裕教室に入居している施設であり、学校の方針に従いあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1989（37）						
				構造	RC造				建物	維持補修	
				ランニングコスト（年間）	3,216千円						
11 庁舎等	13	田村行政センター	田村	延床面積	792.40㎡	中	高	E：あり方 検討	サービス	あり方検討	行政サービスを維持するために必要な施設であることから、更なる市民サービス向上を図るため、隣接する田村公民館等との複合化についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1978（48）						
				構造	RC造				建物	維持補修	
				ランニングコスト（年間）	62,676千円						
11 庁舎等	18	田村行政センター高瀬連絡所	田村	延床面積	41.40㎡	中	高	E：あり方 検討	サービス	あり方検討	高齢化・人口減少地域における行政サービスを提供する施設として、利用状況やニーズの変化を踏まえた施設のあり方について検討する。
				建築年度（経過年数）	1982（44）						
				構造	RC造				建物	維持補修	
				ランニングコスト（年間）	4,668千円						
11 庁舎等	19	田村行政センター二瀬連絡所	田村	延床面積	52.80㎡	中	高	E：あり方 検討	サービス	あり方検討	高齢化・人口減少地域における行政サービスを提供する施設として、利用状況やニーズの変化を踏まえた公共施設のあり方について検討する。
				建築年度（経過年数）	1994（32）						
				構造	RC造				建物	維持補修	
				ランニングコスト（年間）	5,886千円						
12 防災施設	132	田村第1分団第1班（金屋）車庫詰所	田村	延床面積	45.10㎡	中	低	E：あり方 検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1978（48）						
				構造	W造				建物	維持補修	
				ランニングコスト（年間）	371千円						
12 防災施設	133	田村第1分団第2班（下行合）車庫詰所	田村	延床面積	35.70㎡	中	低	E：あり方 検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1972（54）						
				構造	CB造				建物	維持補修	
				ランニングコスト（年間）	227千円						
12 防災施設	134	田村第1分団第2班（上行合）車庫詰所	田村	延床面積	35.32㎡	中	低	E：あり方 検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1980（46）						
				構造	W造				建物	維持補修	
				ランニングコスト（年間）	253千円						
12 防災施設	135	田村第1分団第3班（手代木）車庫詰所	田村	延床面積	48.03㎡	中	高	E：あり方 検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1991（35）						
				構造	W造				建物	維持補修	
				ランニングコスト（年間）	536千円						

個別施設方針一覧表

施設類型	類型別 No	施設名	地区	施設概要		サービス 評価	建物 評価	総合評価	取組内容		方針
12 防災施設	136	田村第1分団第3班（小川）車庫詰所	田村	延床面積	46.37㎡	中	低	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1979（47）						
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	307千円						
12 防災施設	137	田村第2分団第1班（守山）車庫詰所	田村	延床面積	151.42㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1994（32）						
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	802千円						
12 防災施設	138	田村第2分団第2班（岩作）車庫詰所	田村	延床面積	35.32㎡	中	低	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1979（47）						
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	238千円						
12 防災施設	139	田村第2分団第2班（大供）車庫詰所	田村	延床面積	42.23㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1988（38）						
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	318千円						
12 防災施設	140	田村第2分団第3班（金沢）車庫詰所	田村	延床面積	35.32㎡	中	低	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1980（46）						
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	216千円						
12 防災施設	141	田村第2分団第3班（細田）車庫詰所	田村	延床面積	40.15㎡	中	低	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1981（45）						
				構造	その他						
				ランニングコスト（年間）	287千円						
12 防災施設	142	田村第3分団第1班（山中・本郷）車庫詰所	田村	延床面積	40.15㎡	中	低	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1982（44）						
				構造	CB造						
				ランニングコスト（年間）	273千円						
12 防災施設	143	田村第3分団第1班（山中・枇杷沢）車庫詰所	田村	延床面積	49.70㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1997（29）						
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	58千円						
12 防災施設	144	田村第3分団第1班（大善寺）車庫詰所	田村	延床面積	40.15㎡	中	低	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1981（45）						
				構造	その他						
				ランニングコスト（年間）	256千円						

個別施設方針一覧表

施設類型	類型別 No	施設名	地区	施設概要		サービス 評価	建物 評価	総合評価	取組内容		方針
12 防災施設	145	田村第3分団第2班（徳定）車庫詰所	田村	延床面積	43.55㎡	中	低	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1977（49）						
				構造	CB造						
				ランニングコスト（年間）	254千円						
12 防災施設	146	田村第3分団第3班（御代田）車庫詰所	田村	延床面積	48.03㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1993（33）						
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	320千円						
12 防災施設	147	田村第3分団第3班（正直）車庫詰所	田村	延床面積	47.19㎡	中	低	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1930（96）						
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	282千円						
12 防災施設	148	田村第4分団第1班（谷田川）車庫詰所	田村	延床面積	72.04㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	2000（26）						
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	906千円						
12 防災施設	149	田村第4分団第1班（谷田川）車庫	田村	延床面積	12.42㎡	中	低	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1985（41）						
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	91千円						
12 防災施設	150	田村第4分団第2班（下道渡・上道渡）車庫詰所	田村	延床面積	83.63㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	2009（17）						
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	464千円						
12 防災施設	151	田村第5分団第1班（田母神以市）車庫詰所	田村	延床面積	45.55㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1990（36）						
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	284千円						
12 防災施設	152	田村第5分団第1班（田母神宮ノ前）車庫詰所	田村	延床面積	46.40㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1990（36）						
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	293千円						
12 防災施設	153	田村第5分団第1班（田母神南ノ内）車庫詰所	田村	延床面積	47.20㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1986（40）						
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	238千円						

個別施設方針一覧表

施設類型	類型別 No	施設名	地区	施設概要		サービス 評価	建物 評価	総合評価	取組内容		方針
12 防災施設	154	田村第5分団第2班（糠塚）車庫詰所	田村	延床面積	43.06㎡	中	低	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1983（43）						
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	290千円						
12 防災施設	155	田村第5分団第3班（栃本）車庫詰所	田村	延床面積	42.23㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1987（39）						
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	249千円						
12 防災施設	156	田村第5分団第4班（栃山神）車庫詰所	田村	延床面積	49.70㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1990（36）						
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	286千円						
12 防災施設	157	田村第5分団第5班（川曲）車庫詰所	田村	延床面積	35.32㎡	中	低	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	1978（48）						
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	298千円						
12 防災施設	185	田村行政センター防災倉庫	田村	延床面積	40.70㎡	高	高	A：継続	サービス	継続	防災倉庫として必要な施設であることから、引き続き利用状況を踏まえ、補修等を行いながら現状を維持する。
				建築年度（経過年数）	2005（21）						
				構造	S造・SL造						
				ランニングコスト（年間）	154千円						
13 市営住宅	34	松ヶ岡市営住宅	田村	延床面積	129.16㎡	低	低	D：廃止	サービス	廃止	各入居世帯の意向について確認し、各入居者の生活設計等事情を考慮しながら、転居や他市営住宅への住替え等に向けた対応をし、退去次第解体する。
				建築年度（経過年数）	1961（65）						
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	2,181千円						
13 市営住宅	35	緑ヶ岡市営住宅	田村	延床面積	355.19㎡	低	低	D：廃止	サービス	廃止	各入居世帯の意向について確認し、各入居者の生活設計等事情を考慮しながら、転居や他市営住宅への住替え等に向けた対応をし、退去次第解体する。
				建築年度（経過年数）	1962（64）						
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	2,871千円						
15 公衆便所	5	宇津峰公衆便所	田村	延床面積	7.28㎡	中	低	E：あり方検討	サービス	あり方検討	観光地に必要な施設として、引き続き利用状況を踏まえ、補修等を行いながら現状を維持するとともに、利用実態、管理形態、市民ニーズ等を調査し、適正規模・適正配置を含め清潔で安全な公衆便所のあり方について検討する。
				建築年度（経過年数）	1977（49）						
				構造	CB造						
				ランニングコスト（年間）	511千円						
16 その他施設	25	磐城守山駅自転車等駐車場	田村	延床面積	-	高	-	-	サービス	継続	自転車等の利用者の利便を図るため、引き続き利用状況を踏まえながら現状を維持する。
				建築年度（経過年数）	-						
				構造	-						
				ランニングコスト（年間）	83千円						
									建物	建物なし	

個別施設方針一覧表

施設類型	類型別 No	施設名	地区	施設概要		サービス 評価	建物 評価	総合評価	取組内容		方針
16 その他 施設	26	谷田川駅自転車等駐車場	田村	延床面積	-	高	-	-	サービス	継続	自転車等の利用者の利便を図るため、引き続き利用状況を踏まえながら現状を維持する。
				建築年度（経過年数）	-						
				構造	-				建物	建物なし	
				ランニングコスト（年間）	13千円						
16 その他 施設	29	東山悠苑	田村	延床面積	3,196.60㎡	高	高	A：継続	サービス	継続	市民生活に欠かせない施設であることから、計画的な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る。
				建築年度（経過年数）	1990（36）						
				構造	RC造				建物	長寿命化	
				ランニングコスト（年間）	168,679千円						
16 その他 施設	30	東山霊園	田村	延床面積	1,054.01㎡	高	低	B：建物更新	サービス	継続	市民生活に欠かせない施設であることから、引き続き補修等を行いながら現状を維持する。
				建築年度（経過年数）	1970（56）						
				構造	RC造				建物	維持補修	
				ランニングコスト（年間）	72,870千円						
17 公園	141	宮田公園	田村	延床面積	9.31㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	利用実態、管理形態、市民ニーズ等を調査し、適正規模・適正配置を含め清潔で安全な公園便所のあり方について検討する。
				建築年度（経過年数）	2005（21）						
				構造	W造				建物	維持補修	
				ランニングコスト（年間）	1,386千円						
17 公園	142	大安場史跡公園	田村	延床面積	1,279.36㎡	高	高	A：継続	サービス	継続	計画的な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る。
				建築年度（経過年数）	2008（18）						
				構造	SRC造				建物	長寿命化	
				ランニングコスト（年間）	78,881千円						
17 公園	143	金沢農村公園	田村	延床面積	11.02㎡	低	高	C：サービス廃止	サービス	廃止済み	東部森林公園に編入済み
				建築年度（経過年数）	2004（22）						
				構造	W造				建物	東部森林公園に編入	
				ランニングコスト（年間）	1,795千円						
17 公園	144	東部森林公園	田村	延床面積	216.00㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	現在検討中の森林公園の基本計画に基づきあり方を検討する。
				建築年度（経過年数）	2010（16）						
				構造	W造				建物	維持補修	
				ランニングコスト（年間）	11,963千円						